

データ実行防止 (DEP) による Magic の異常終了の対応

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社

カスタマーサービス本部 開発部

2005年7月22日

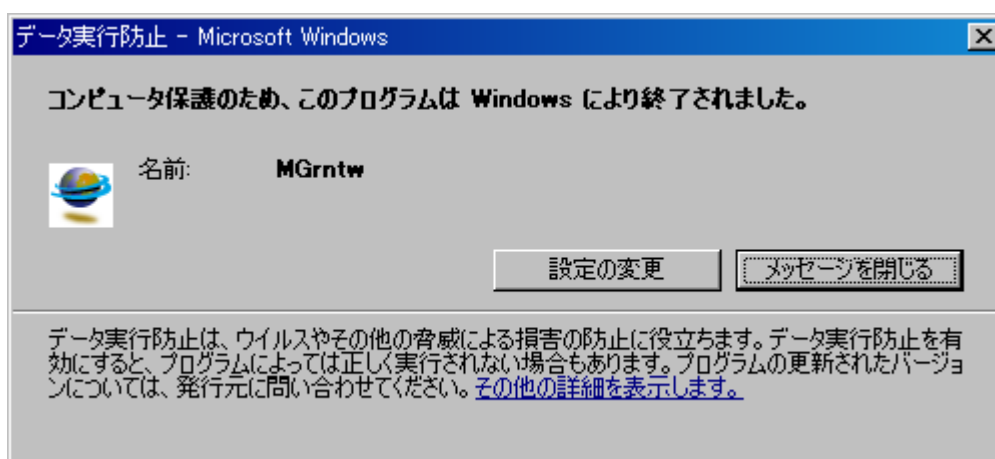
Windows XP SP2 および Windows Server 2003 SP1 では、新たなセキュリティ対策として、データ実行防止機能 (DEP、Data Execution Prevention) が提供されています。これはウイルス防止対策の一つであり、実行不許可 (No execute、NX bit) 属性をもつデータページからの実行を禁止するもので、NXbit をサポートする最近の CPU で実行する場合に有効となります。この機能は、デフォルトでは「重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効とする」となっていますが、これを「すべてのプログラムに有効にする」、という設定にすると(設定の方法は [DEP 設定の確認](#) を参照)、Magic プログラム (mgrntw.exe および mggenw.exe) がエラーを出して異常終了することが弊社で確認されています。

これに対して現時点での対応策として、以下に示すように Magic プログラムをデータ実行防止の対象から除外することにより、実行を続けることができます。この問題は将来のバージョンで改善される予定です。

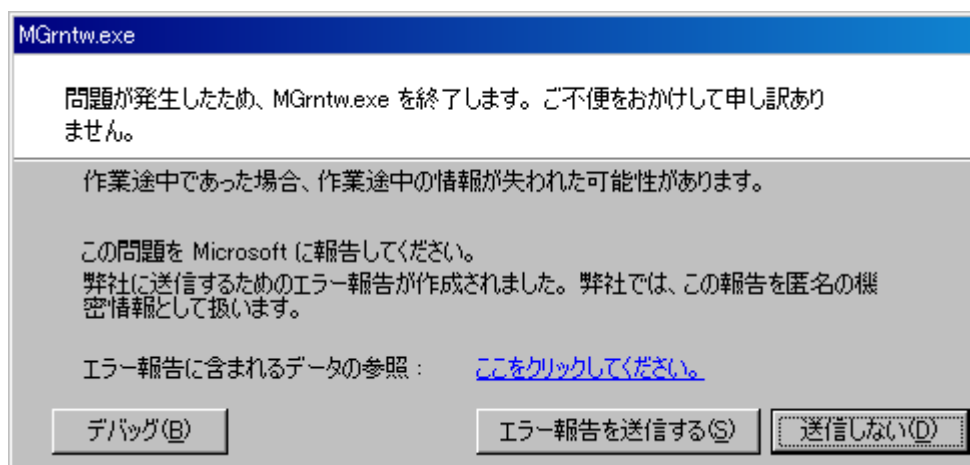
注意: 本文書は、参考情報として、実機を使って弊社で独自に確認した内容をまとめたものです。内容の正確性や、異なる環境条件の下でも Magic 製品が正しく動作することを保証するものではありません。

現象

Magic プログラム (Magic eDeveloper, Magic Client, Magic Application Server とともに) を起動した直後に、以下のようなエラーが出ます。



「メッセージを閉じる」ボタンを押すと、次のような画面が出て、Magic が異常終了します。



問題の発生する条件

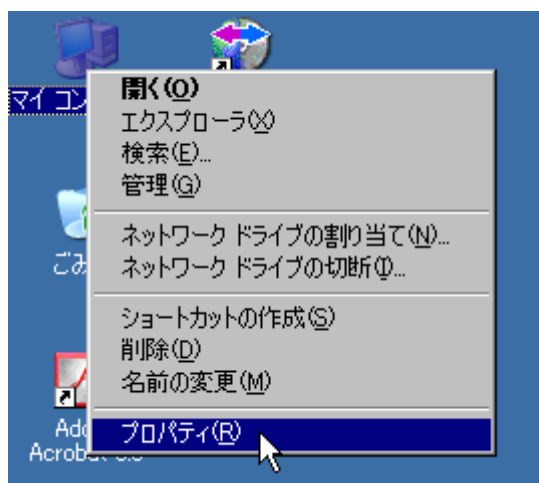
- DEP をサポートする Windows のバージョンを利用している。現在の時点で、DEP をサポートしているのは、Windows XP SP2 および Windows Server 2003 SP1 です。
- NX bit をサポートする CPU を使った PC 上で実行している。最近発売されている CPU はサポートしているものが増えてきていますが、すこし前のものではサポートされていません。[CPU の DEP サポート状況の確認](#)の項を参照してください。
- Magic プログラム (mggenw および mgrntw) が、DEP の監視対象となっている。DEP 監視対象の状況の確認は、[DEP 監視対象プログラムの確認](#)の項を参照してください。除外の方法は、[DEP の除外の方法](#)を参照してください。

DEP 設定の確認

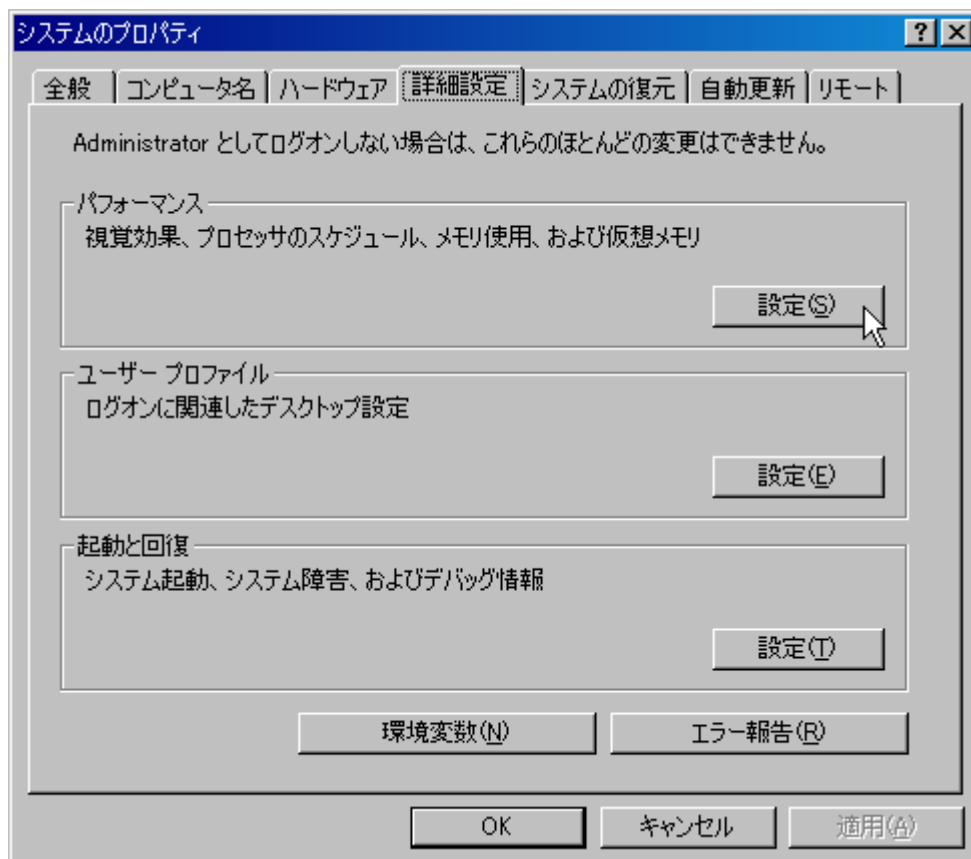
お使いの PC の DEP の設定状況 (CPU がハードウェアで DEP をサポートしているか、およびどのプログラムが DEP の監視対象となっているか) は、次のようにして確認することができます。

(1) データ実行防止ダイアログの開き方

STEP1. デスクトップのマイ コンピュータアイコンから**プロパティ**を開きます。

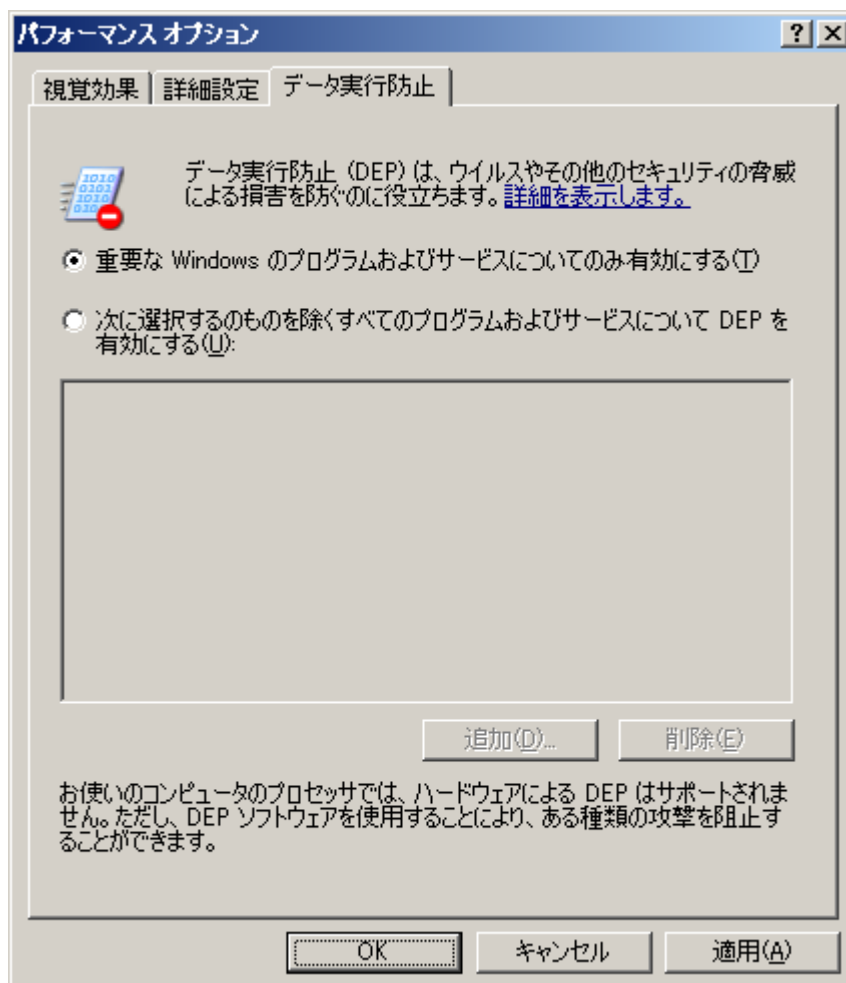


STEP2. システムのプロパティが開きますので、**詳細設定**タブを開き、**パフォーマンス**の**設定**ボタンを押します。



STEP3. パフォーマンス オプションダイアログが開きますので、**データ実行防止**タブを開きます。

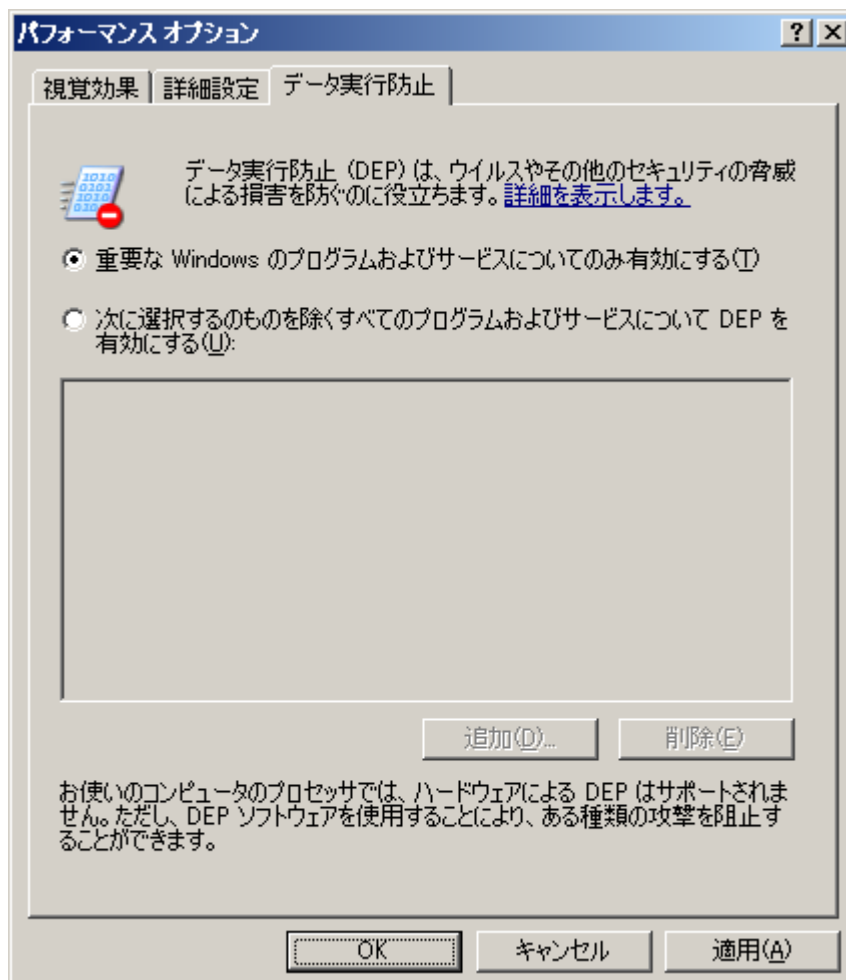
お使いの Windows が DEP 機能をサポートしていないバージョンの場合には、**パフォーマンス オプション**ダイアログに**データ実行防止**タブがありません。



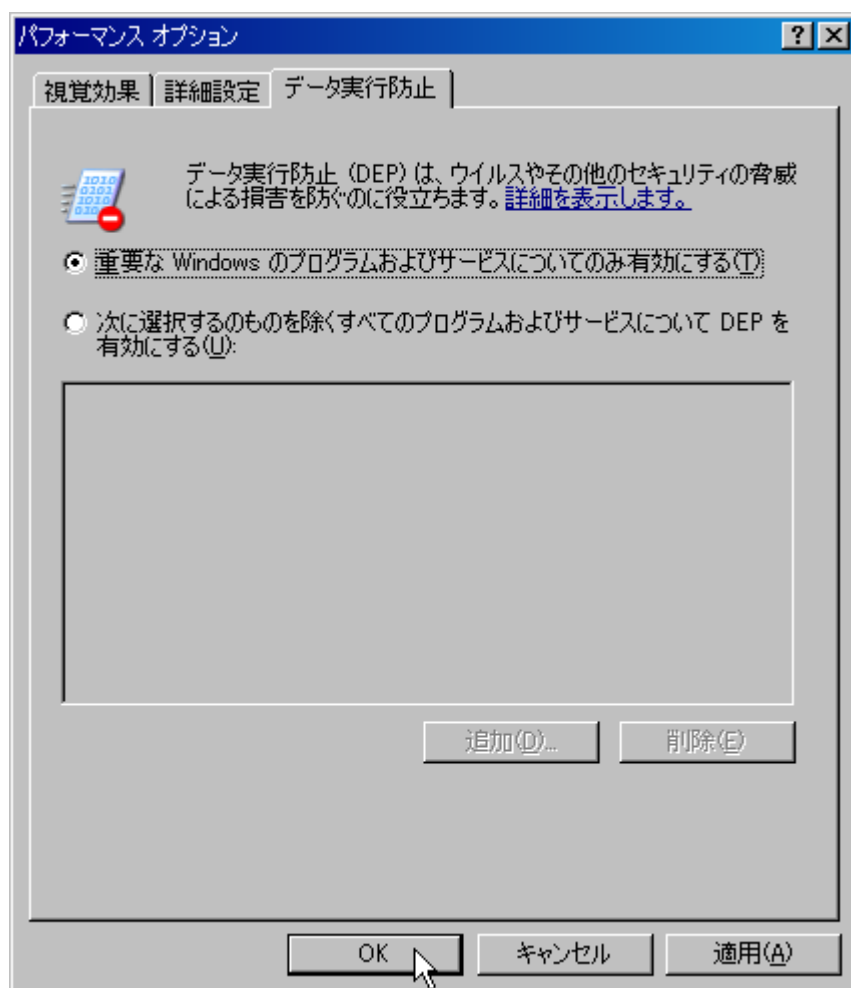
(2) CPU の DEP サポート状況の確認

使っている PC の CPU がハードウェアで DEP をサポートしているかどうかを確認するには、データ実行防止ダイアログを開き、最下段を見てください。

下図のように、「お使いのコンピュータのプロセッサでは、ハードウェアによる、DEP はサポートされません。」と表示されていれば、DEP 機能がサポートされていない CPU です。



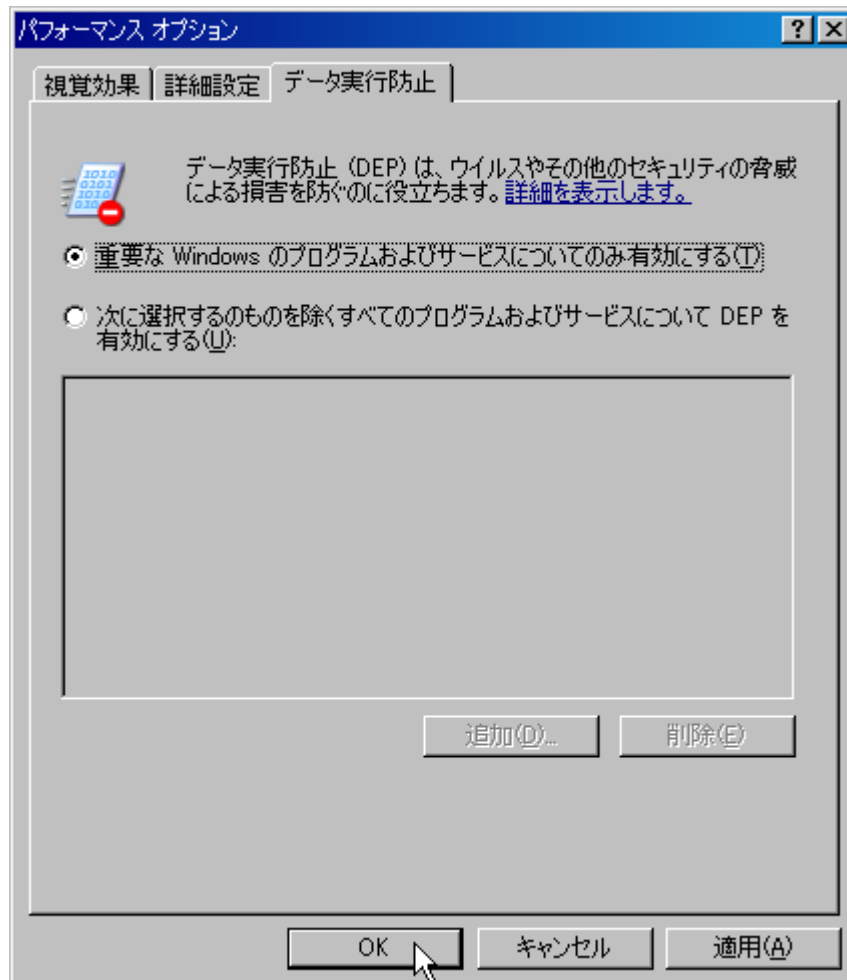
この部分が下図のように空白になっていれば、DEP をサポートする CPU です。



(3) DEP 監視対象プログラムの確認

Magic が DEP の監視対象となっているかを確認するには、データ実行防止ダイアログを開きます。

下図のように、「**重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効とする**」(デフォルト設定)となっている場合には、Magic プログラムは DEP の監視対象になっていません。



下図のように、「次に選択するものを除く…」の方が有効になっていたら、Magic は DEP 監視対象に含まれます。

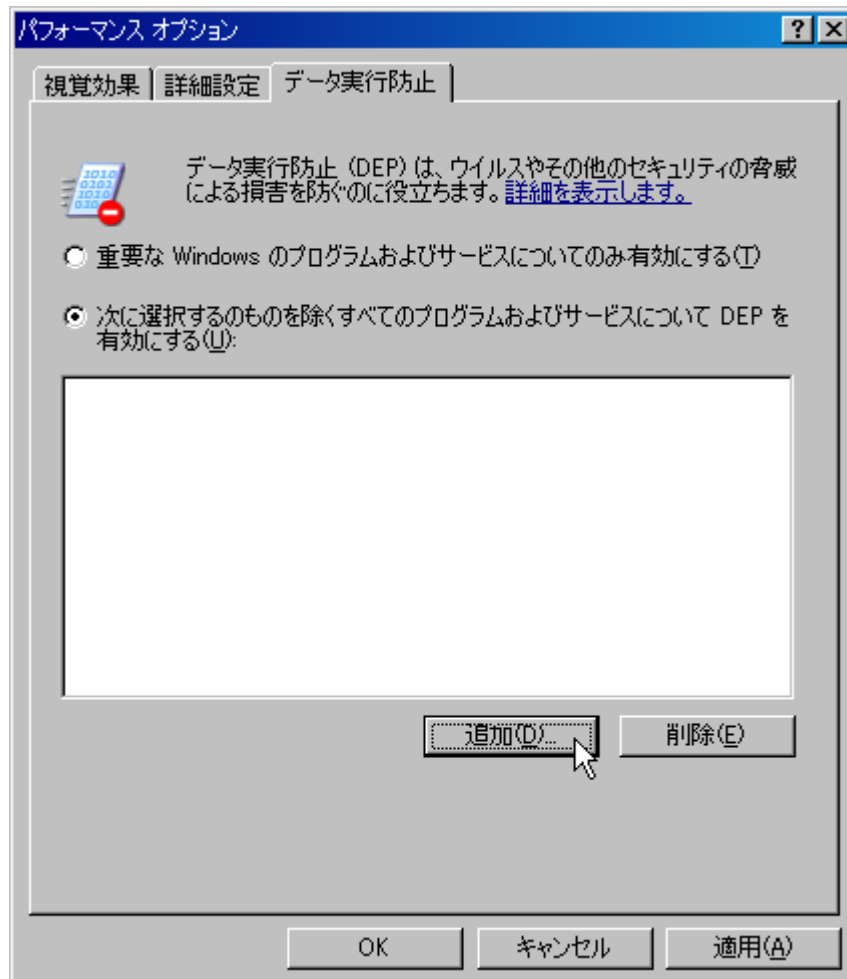


DEP 除外の方法(1)

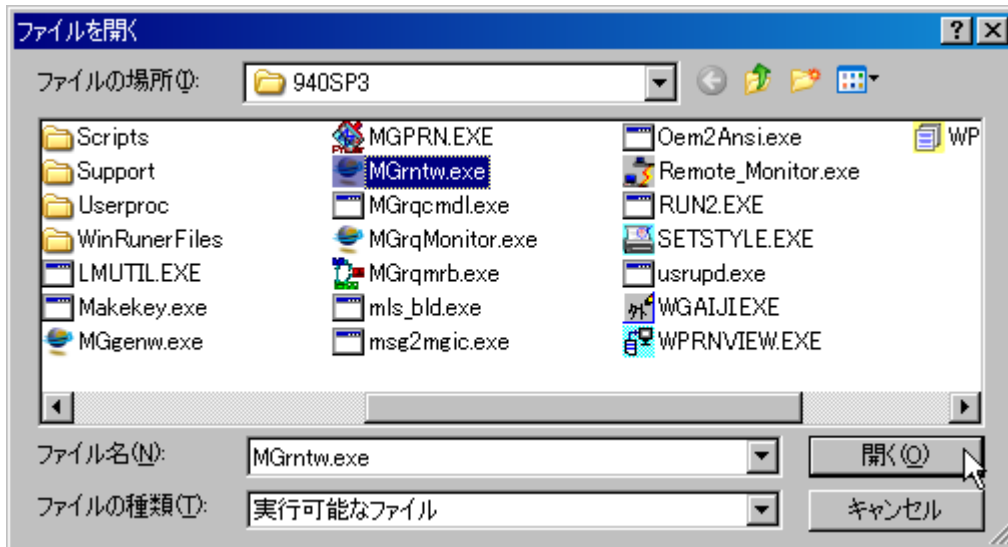
DEP の問題が起こる場合、Magic プログラムを DEP の対象から除外するには、次の方法で設定します。

STEP1. **データ実行防止**ダイアログを開きます。

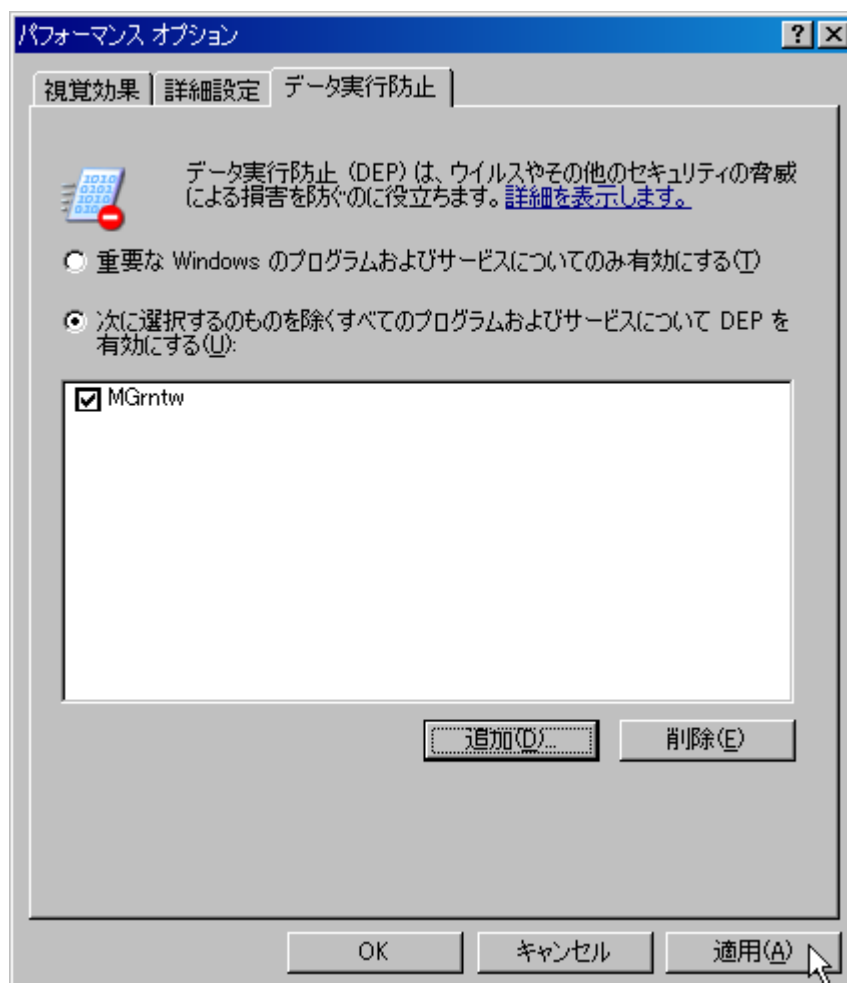
STEP2. **追加** ボタンを押します。



STEP3. ファイルを開く ダイアログが開きますので、Magic をインストールしたディレクトリから MGntw.exe を選びます。



除外リストに MGntw が追加されます。チェックボックス をオンにして、除外を有効にしてください。

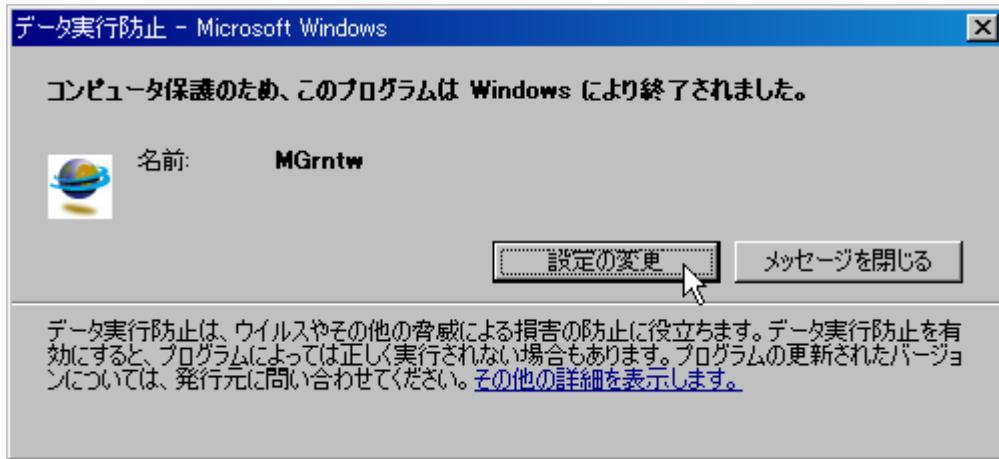


STEP4. Magic eDeveloper 製品の場合には、MGgenw.exe も同様にして除外の対象に含めてください。

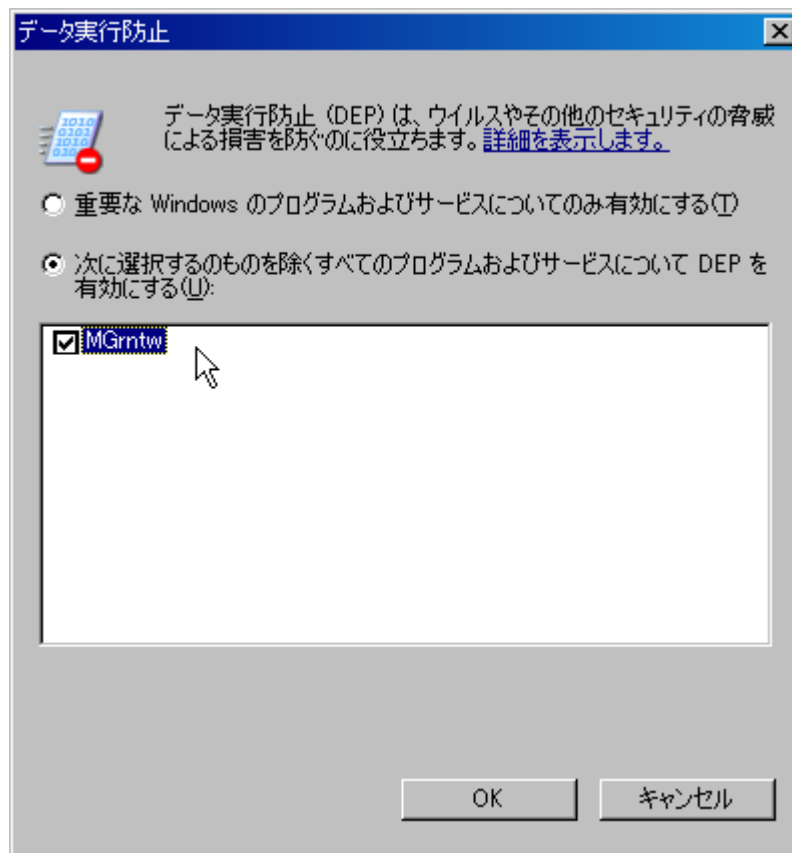
DEP 除外の方法(2)

より簡単には、次のように一度エラーを発生させて、設定を行うこともできます。

STEP1. Magic を起動します。DEP 機能が働いて **データ実行防止** ダイアログが開きますが、ここで **設定の変更** ボタンを押します。



STEP2. データ実行防止 ダイアログが出て、エラーの起こったプログラム名 (今の例では MGrntw)が除外リストに含まれていますが、有効になっていないので、チェックボックスにチェックをして、除外を有効にします。



STEP3. OK ボタンを押すと、このときは異常終了しますが、次回以降は除外が有効になり正常に起動するようになります。